

【教育目標】 学びを 未来に つなぐ

【目指す生徒像 及び 生徒に求める具体的行動目標】

志を持ち 努力する生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来を見通して思考し、希望や目標を持つ</li> <li>・ 向上心を持ち、目標に向かって計画的に努力する</li> <li>・ 意欲的に、真剣に学習や諸活動に取り組む</li> <li>・ 困難にも粘り強く挑戦する</li> </ul>
和を大切にし 行動する生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思いやりや感謝の心を持ち、仲間と良い人間関係を築く</li> <li>・ 社会秩序のマナーや団体のルールを守る</li> <li>・ 集団の一員としての自覚と責任を持ち行動する</li> <li>・ 仲間と協力して学級活動や行事に取り組む</li> <li>・ 平和で民主的な社会を築く一員としての資質を磨く</li> </ul>
心を拓き 成長する生徒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人の痛みを理解し、自他の生命を尊重する</li> <li>・ 自己を見つめ、自らの成長のために努力する</li> <li>・ 健康や安全に心がけ、体力の向上に努める</li> <li>・ 素直な心を持ち、何事にも根気強く取り組む</li> <li>・ 善悪の判断を身に付け行動する</li> </ul>

【学校経営の基本方針】 凡事徹底、ウェルビーイングの視点

- 1 生徒第一主義を貫き、「傾聴・受容・共感」に基づく生徒理解
- 2 心理的安全性を高める学級・学校風土の醸成
- 3 「個別最適な学び」「協働的な学び」を支える授業改善
- 4 専門性と同僚性を高め、「人間性」を磨く教職員の育成
- 5 保護者・地域・他校種と積極的につながり関わる学校運営

【今年度の重点】 **テーマ：自己肯定感の向上**

- 1 安心できる人間関係、学級・学校づくり 方針1・2
  - ・ 「傾聴・受容・共感」に基づく生徒理解
  - ・ 「いじめ見逃しゼロ」を目標とした組織的な対応
  - ・ 不登校・不登校傾向生徒の情報共有及び関係機関と連携した支援
- 2 基礎学力の定着 方針3
  - ・ 生徒が「考える」「表現する」時間と場の保障
  - ・ 生徒が意欲的に学習に取り組み、仲間と学び合える授業展開
  - ・ ICT を効果的に活用する授業展開の工夫
- 3 教育公務員としての専門性の向上 方針4
  - ・ 「教えるプロ」としての専門性の向上
  - ・ 教育公務員としての服務規律の保持に関わる研修機会・内容の充実
- 4 保護者、地域、関係機関との連携強化 方針5
  - ・ 教育活動への地域人材の積極的活用
  - ・ 子どもを中心に据えた保護者・地域との連携、積極的な情報発信

【目指す学校像】

生徒 にとって 分かる喜びとできる楽しさを実感できる 学校  
 保護者・地域 にとって 信頼関係で結ばれた 学校  
 教職員 にとって 地域と共に歩み 地域が誇れる 学校

【紋別中学校教育目標具現化の構想】

目標	目指す生徒像	道徳的価値等	指標となる行動	重点施策
学びを未来につなぐ	志を持ち 努力する生徒  【学び合い】	自立 向上心 挑戦 継続 努力 可能性の追求	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来を見通して思考し、希望や目標を持つ</li> <li>・向上心を持ち、目標に向かって計画的に努力する</li> <li>・意欲的に、真剣に学習や諸活動に取り組む</li> <li>・困難にも粘り強く挑戦する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的生活習慣の確立</li> <li>・学習習慣の定着</li> <li>・学力向上</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善</li> <li>・ICT を適切に活用した個別最適・協働的な学び</li> </ul>
	和を大切にし 行動する生徒  【磨き合い】	共生 多様性 思いやり 感謝 奉仕 秩序 連帯感 協働 積極性 創造 感動 平和	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりや感謝の心を持ち、仲間と良い人間関係を築く</li> <li>・人の痛みを理解し、自他の生命を尊重する</li> <li>・社会秩序のマナーや団体のルールを守る</li> <li>・集団の一員としての自覚と責任を持ち行動する</li> <li>・仲間と協力して学級活動や行事に取り組む</li> <li>・平和で民主的な社会を築く一員としての資質を磨く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒理解、教育相談</li> <li>・いじめ対応（見逃しゼロ）</li> <li>・不登校生徒への支援</li> <li>・道徳教育</li> <li>・特別活動</li> <li>・生徒会活動、諸行事・諸活動の充実</li> <li>・特別支援教育</li> </ul>
	心を拓き 成長する生徒  【高め合い】	豊かな心 健康・体力 誠実 寛容 正義感 自律 忍耐 人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己を見つめ、自らの成長のために努力する</li> <li>・健康や安全に心がけ、体力の向上に努める</li> <li>・素直な心を持ち、何事にも根気強く取り組む</li> <li>・善悪の判断を身に付け行動する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康安全、保健指導</li> <li>・読書活動</li> <li>・体験活動</li> <li>・ふるさと教育</li> <li>・キャリア教育、進路指導の充実</li> <li>・部活動（地域移行関連含む）</li> </ul>

【紋別中学校教育目標具現化の構想】

目標	目指す生徒像	主な取組
学びを未来につなぐ	志を持ち 努力する生徒  【学び合い】	① 個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識した授業展開 ・[教科等] 生徒の活動時間の保障の実現による「生徒が主語となる授業」の実現 ・[教科等] 思考力・判断力・表現力の育成を目指した紋中スタンダードの定着 ・[教科等] ICT を適切に活用した個別最適・協働的な学び ②自ら学ぶ意欲を高める指導 ・[教科・学級活動等] 家庭学習習慣の定着（タメベン、家庭学習の手引、CBS） ・[研修] 日常授業の交流や公開研究会等の充実による教師の指導力の向上 ③そのほか ・[学級活動] 入学時、進級時における目標設定、学校生活への動機付け ・[教科・検定] 検定への挑戦など学習意欲の喚起 ・[部活動] 個人並びに部の目標設定と実現に向けての活動
	和を大切にし 行動する生徒  【磨き合い】	①生徒一人一人を大切にした教育活動 ・【生徒指導】 傾聴・受容・共感に基づく生徒理解 ・【生徒指導】 いじめ等各種調査による積極的認知と初期対応 ・[学級活動] ピアサポートやグループエンカウンター等による自己理解、相互理解の促進など、発達支持的生徒指導の充実 ・[特別支援・通級] 個の特性に応じた学びと切れ目のない支援の充実 ②一人一人が活躍できる場や機会の設定 ・【学級活動、行事、生徒会】 話し合い等、生徒同士の協働を意識した活動 ・[生徒会活動] 生徒の自主的活動を重視した取組への支援 ③不登校生徒への対応 ・生徒に寄り添った支援の充実と保護者との連携 ・【関係機関】 SC、SSW、教育支援センター等関係機関との連携 ④そのほか ・[道徳] 教育活動全体を通じた道徳教育の推進、指導の充実と指導方法の研修 ・[部活動] 部活動におけるチームワークの醸成
	心を拓き 成長する生徒  【高め合い】	①生徒が主体的に取り組む授業 ・【教科等】 体育授業の工夫（運動量の確保）、運動への関心、体力の向上 ・【部活動】 魅力ある部活動の運営、拠点校方式並びに地域移行に向けた取組 ・[教科・総合] 地域の自然、歴史等について理解を深めるふるさと教育の充実 ・[教科・道徳・総合等] 外部人材の積極的活用と保護者・地域等と連携した教育活動（系統的なキャリア教育、職場体験学習、主権者教育） ②「自分」や「命」を大切にする指導 ・【道徳等】 交通安全、非行防止、情報モラル教育等関係機関と連携した授業による知識、判断力等の育成、社会的規範意識の醸成 ・[総合等] 福祉体験、性の授業、国際交流等による多様性への理解促進と行動化 ③基本的生活習慣の定着 ・家庭と連携した望ましい生活習慣の確立 ・健康教育の充実、心と体の健康指導 ④そのほか ・[学活・行事] 読書活動の推進や芸術鑑賞等を通じた豊かな感性の涵養

【紋中スタンダード】

「これだけは」徹底して取り組む授業改善の視点

- 1 仲間と協力して学びに向かう (学びの協同)
- 2 課題解決のため最後まで考える (時間確保)
- 3 自分が学んだことを、生活に関連付けて考える (話の共有)



生徒 > 教師 の活動時間

めざす授業

「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現  
仲間と協力して、主体的に取り組む態度を育成

【チーム紋別中学校】

学校力を高める教職員の職場づくり

- 1 効率的な業務推進を行い、質の高い公教育を提供します
  - ・生徒と向き合う時間の確保
  - ・専門性を生かした指導力の向上、発揮
- 2 生徒に対して確かな学力を身に付けさせます
  - ・「何のために」目標や課題を明確にした授業
  - ・「どのように学び、何ができたか」生徒自身が振り返り成長を実感する授業
  - ・授業と家庭学習の工夫定着、往還（タメベンルームの利用促進、家庭学習の仕方の指導）
- 3 生徒が通いたい、保護者が通わせたい、教職員が働きたいと思える学校づくりを行います
  - ・生徒が主人公となり、一人一人が主役となれる学校
  - ・チームで解決する教職員集団
  - ・心理的安全性を高める学校経営